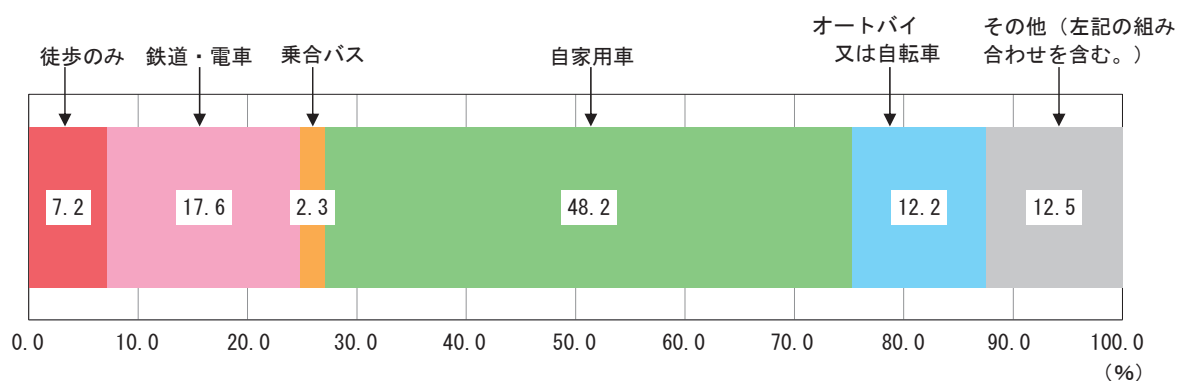


2-4 通勤・通学 —電車？車？それとも…？—

みなさんは毎日、学校や職場へどのようにして通っていますか？「徒歩」という人もいれば、「電車で他県へ」という人もいるでしょう。通勤・通学に利用する交通手段や、昼と夜の人口が大きく異なる地域についてみていきましょう。

Q1 どうやって通勤・通学している人の割合が高い？

15歳以上通勤者・通学者の利用交通手段別割合—全国（2020年）

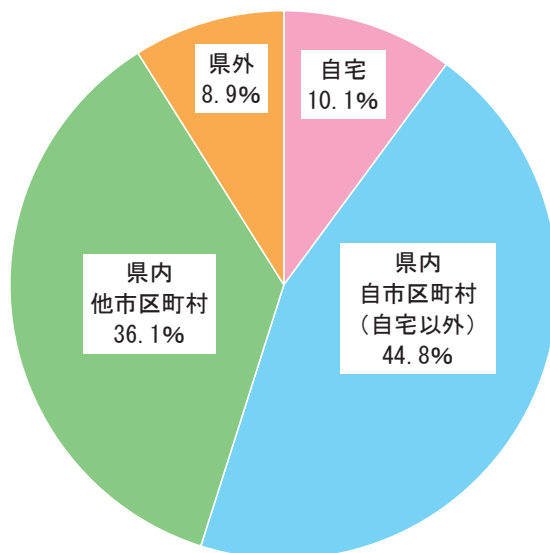


A 「自家用車」で通勤・通学が最も高く48.2%

◆ 「鉄道・電車」で通勤・通学する人の割合は2番目に高い (17.6%)

Q2 地元で働いている人はどれくらい？

就業者の従業地別割合—全国（2020年）



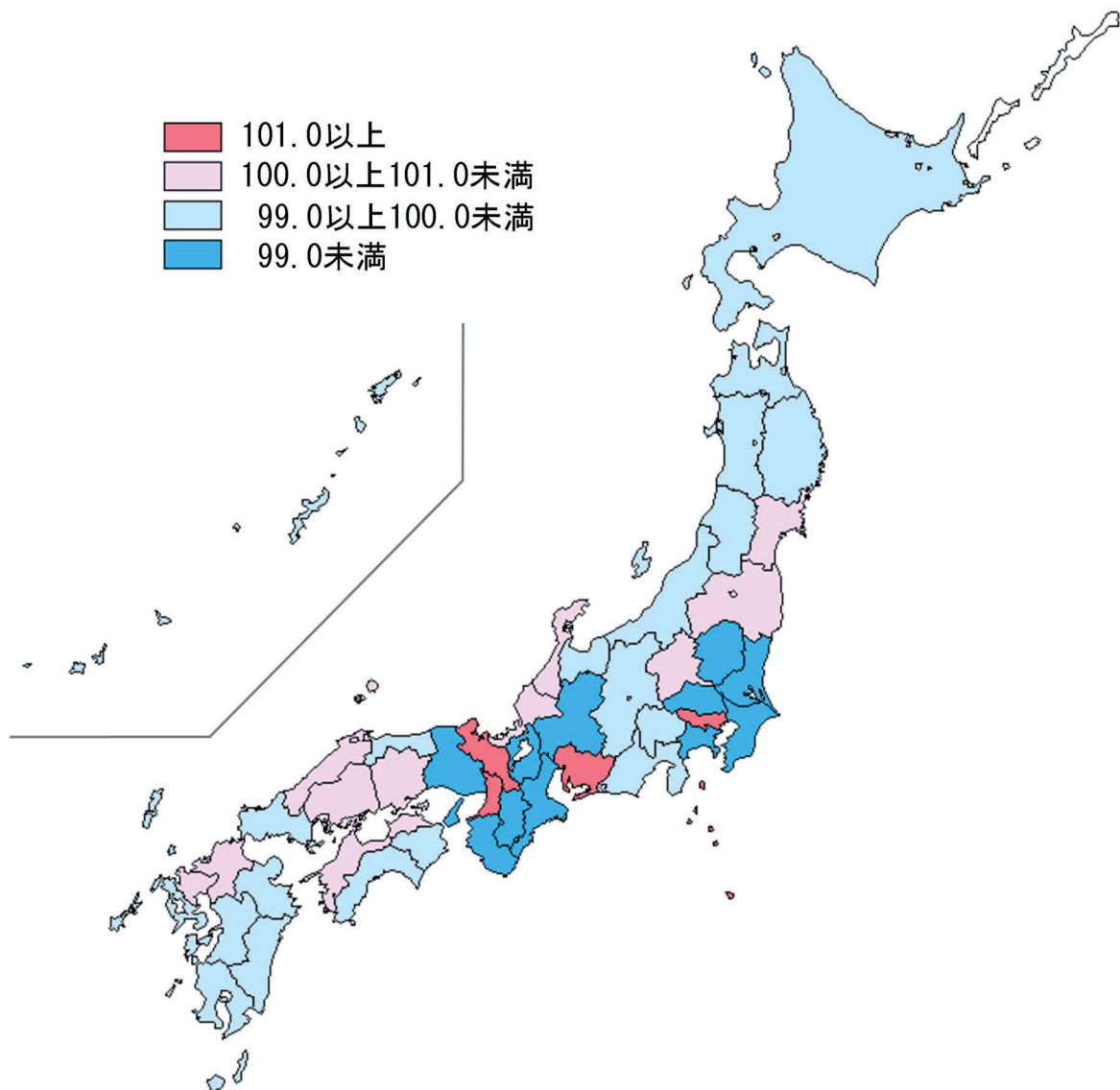
注) 不詳補完値による。

A 地元(自宅及び県内自市区町村(自宅以外))で働いている人は54.9%と半数を超える

◆ 県外の職場へ通っている人の割合は低い (8.9%)

Q3 昼と夜では人口が違う？

昼夜間人口比率—都道府県（2020年）



注) 不詳補完値による。

A 東京都、大阪府、京都府、愛知県などの都市部では、昼間の人口が多い(通勤・通学により人が集まるため)

- ◆ 東京都、大阪府、京都府、愛知県の周辺の県では、夜間の人口が多い
(昼間は都市部の職場や学校に通い、夜間は自宅がある郊外に帰る人が多いため)